

ほけんだより



病児・病後児保育「みどり」
令和7年6月発行

今月のテーマは「**夏に気を付けること**」です！

夏はレジャーに出かける機会も多い分、大人でも十分に気をつけないといけないことがたくさん潜んでいます

例えば

熱中症・脱水症状

あせも・とびひなどの皮膚トラブル



紫外線によるダメージ

夏風邪



遊具によるヤケド

空調などが原因の低体温症

この中で子どもの身近にあり、

夏の公園で注意したいのは遊具によるヤケドです

直射日光で熱々になった滑り台

外気温ですら30℃を超えている時に、滑り台の表面は50℃～70℃になることもあるそうです
これは、だいたいよそったばかりの味噌汁ぐらいの熱さです

☆外で遊ぶときは、素手や素足で熱くなっているものを触らないように
話をして注意し、小さなお子さんは離れず付き添いましょう。

☆もし素手で触ってしまった時は流水で冷やしましょう



☆ヤケドだけではなく熱中症の危険もあるため夏場に公園に行くときには子どもの様子を
こまめにチェックしてあげましょう

遊具に限らず、自転車の子供用の座席についても、シート部分が黒色だと思わぬ高温になっている
こともあるそうです。座る前に温度を確認してみましょう